

山口新聞

平成27年10月2日(金)

NO.172



水路の草刈りの様子

農地・水・環境
守ろう地域の手に

172

農地維持、景観の継承

泉川地域資源保全会(長門市)

当会は長門市最西端の伊上地区内にあり、2006年度までには場整備した約21畝の農地を活動範囲としている。

少子高齢化や後継者不足から農道や水路の維持管理が深刻になってきたため、12年7月に農事組合法人泉川の構成員を中心に当会を設立した。

主な活動は農地、水路の維持活動であり、市が設置した鳥獣被害防護柵の維持管理や補修なども共同で行っている。

今のメンバーのほとんどが農家で、今後近隣の自治会や老人クラブなどの協力を得て、地域一体で活動していきたいと考えている。

また、特産「はなっこり」の栽培や、そのオーナー制度を、地元農業法人と市内外の方々へ積極的に展開している。

こうした取り組みにより地域が活気づき、先祖代々から続く当地区の風光明媚な景観と農地を、後世に引き継ぐべく活動している。

(代表、増田浩嗣)

|| 金曜日掲載 ||

【XEM】代表 || 増田浩嗣
▽会員 || 44人、農家(42戸)、農事組合法人泉川、河原土地改良区
▽設立 || 2012年7月20日
▽連絡先 || 長門市油谷伊上1295の1、増田浩嗣さん、電話0837・332・1823